

## 令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

<b>事務事業名</b>	小地域福祉活動補助金		
<b>担当所属</b>	福祉支援課	<b>連絡先</b>	092-332-2073

## 【事務事業基本情報】

<b>区分</b>	②奨励・支援的事業補助		
<b>該当例規等</b>	糸島市社会福祉関係団体等補助金交付規程		
<b>基本目標</b>	基本目標 1 __みんなが健康で元なまちづくり		
<b>政策</b>	政策 4 __社会福祉の推進		
<b>施策</b>	施策⑨ __地域福祉活動の充実を図る		
<b>補助期間</b>	令和2年度	まで	

## 【事業概要・指標】

<b>事業概要</b>	<b>成果指標</b>
<p>【目的】</p> <p>校区の特色を活かし、子どもや高齢者、障がい者等への支援（各種サロン、交流活動、乳幼児訪問など）や地域住民に対する啓発を含めた広報活動を行う校区社会福祉協議会の小地域福祉活動事業に対し支援することで、市民の身近な圏域である校区単位での地域福祉の推進を行うため。</p> <p>【対象事業】</p> <p>小地域福祉活動事業（校区社会福祉協議会実施分）</p> <p>【対象者】</p> <p>糸島市社会福祉協議会（市社協から各校区社会福祉協議会へ再補助している。）</p>	<p>① 校区社会福祉協議会会長・事務局長会議の開催</p> <p>② 事務局長会議の開催</p>

## 【改革案】

<b>今後の実施方向性</b>	現状維持
<p>「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業において、地域福祉を推進するためには、市民にとって一番身近な「小学校区」を単位とすることが効果的であるとされている。校区社会福祉協議会は、小学校区を単位として構成されており、今後はさらにその役割が重要になってくると考える。そのため、「我が事・丸ごと」の地域づくり推進と協働しながら、効果的な事業の実施方法をさらに検討していく必要がある。</p>	

## 【指標の推移】

	単位	H31年度実績	目標値
成果指標	① 回/年	2	2
	② 回/年	1	1

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	2,250,000	2,250,000

## 【環境変化等】

<b>開始時の周辺環境・課題</b>	校区社会協議会が実施する小地域福祉活動事業の一部補助
<b>現状の周辺環境・課題</b>	第2期糸島市地域福祉計画に定めるように、市民にとって一番身近な圏域である「小学校区」において、地域特性に応じたさまざまな福祉活動を行う校区社会福祉協議会への支援を継続し、地域福祉活動の推進を図る。
<b>今後の予想される周辺環境・課題</b>	各校区に設置された地域ささえあい会議等において、地域の生活課題解決に向けた検討や取組がなされ、今後さらにこれら地域団体と市、社協等の行政機関との協働が促進されなければならない。
<b>市民及び議会等の意向・ニーズの変化等</b>	コロナ禍で校区の特性を生かした活動を自ら発展させていくことができるよう、市社会福祉協議会と協力し、支援を行うことが求められている。